

お役に立つ情報をお届けします。

忙しいビジネスのお手を少し休めて、お読みいただければ幸いです。

Attractive 通信

Attractive 通信

第7号

平成30年4月1日発行（季刊）

編集・発行

ビジョンサポート合同会社

あなたとの出会いが an attractive opportunity となるように願い attractive 通信と名付けました。

教育投資に関する一考察

～お金のために働く幸せになれない～

学資保険を扱う私たちはよく、教育投資という言葉をつらつら耳にします。

教育は投資なのかな？ という疑問はさておき、先日、収入格差による教育進学率の話が取り上げられていました。

「未塾児」などとの言葉ができたように、学校とは別に塾に掛かる費用は少なくありません。

塾に行かなければ入試対策は不可能に近い現状を考えれば、これこそ投資なのかもしれないかと思いますが、実際に高卒と大卒の生涯年収は金額で見ると、統計からは4600万円ほどの差があるそうです。一概には言えないと思いますが、生涯年収で2割の差がでるそうです。実際に求人する企業人材募集も、大卒初任給と高卒初任給は分けられ、違うことが多いです。



しかし、私たちは学歴にかかわらず、立派に働いている人達をたくさん知っています。

実際 大学で学んだことが社会で役に立っていると、実感していない人もおみえと思います。あなたはいかがですか？

学資保険を検討される多くの方々は、子供が一定年齢になった時に、親の経済的理由で子供たちの進学や可能性の芽を、できる限り摘みたくないと思っています。

理屈では、進学することにより視野が広がる、出会いがあるなどと言われてもピンとこない子供たちも多いのではないのでしょうか。ただ明確に答えを出せる子供たちも少ないと思います。

私は叔父が強豪と言われる高校野球の監督をしていたのですが、多くの特待生が、地元の期待を背負った球児たちでさえも、肩を壊したらおしまいだな、と子供心に思ったことがあります。